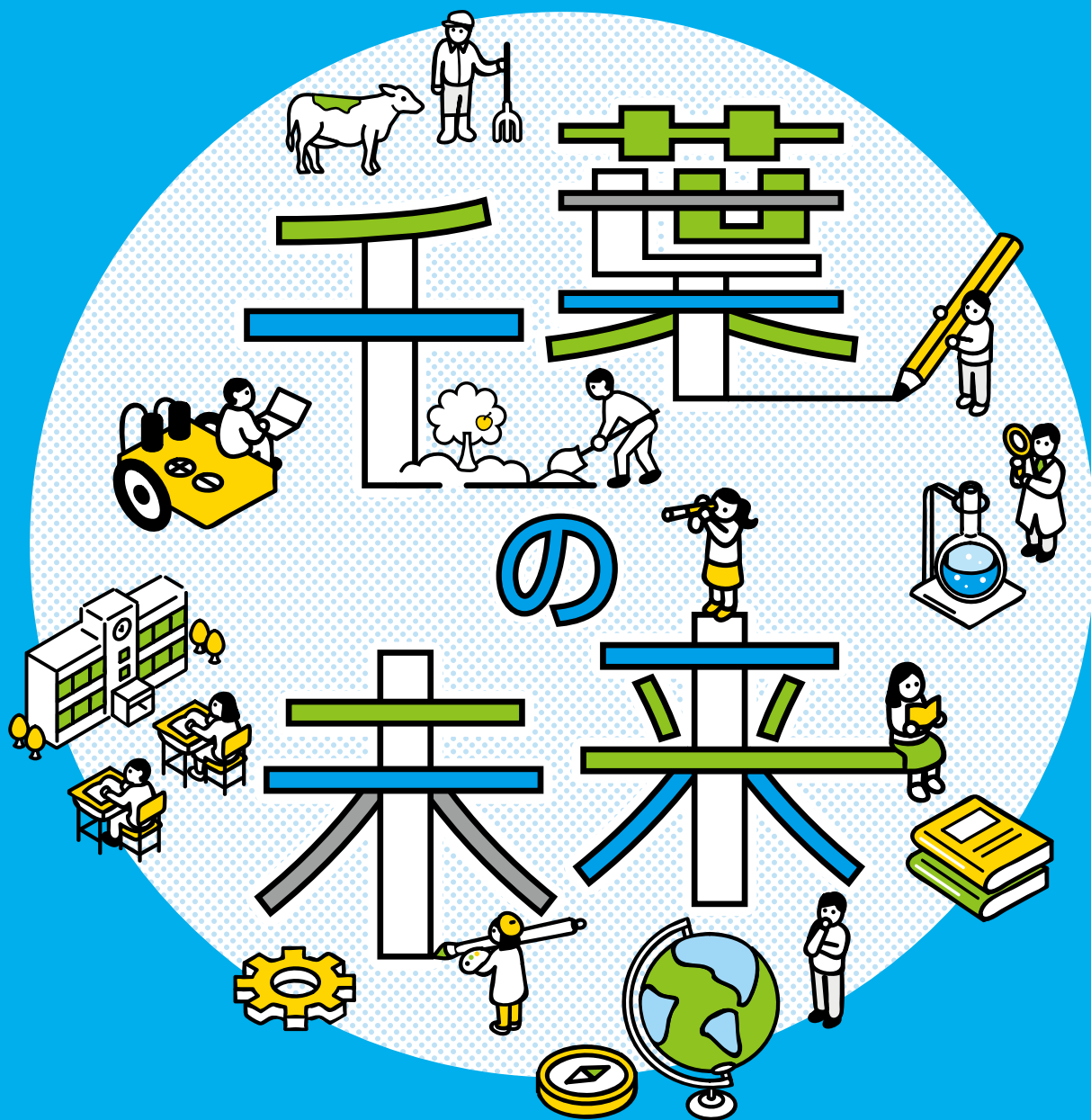




第4期

令和7－令和11年度

千葉県 教育振興 基本計画

— はじめに —



千葉県は、首都圏にありながら、美しい海岸線や豊かな自然に囲まれ、優れた都市機能と多様な文化があり、子育てにとっても良い環境が整っています。また、魅力的な観光地や美味しい農林水産物、成田空港や東京湾アクアラインなど、たくさんの宝に恵まれています。

今後、成田空港の機能が強化され、道路ネットワークも充実することで、経済活動が活発となり、千葉県全体の活力が更に高まっていくことが期待されます。また、社会経済のグローバル化やデジタル化が一層進展するとともに、脱炭素化の取組も進んでいくでしょう。予測困難とも言われるこれからの時代を生きる子供たちには、様々な変化を前向きに捉え、豊かな感性や創造性、コミュニケーション能力を発揮して、たくましく生きる力を育むことが必要です。

そのために、私たちは次の世代を担う子供たちに対して、保護者や地域の皆様、教育関係者、産業界の皆様と協力して、質の高い教育を提供することが大切だと考えています。

私は知事に就任して以来、県内の市町村や産業界の皆様と課題を共有し、学校の先生方や高校生たちとも対話を重ねてきました。そして、様々な声を受け止め、総合教育会議などの場も活用して、学校現場の課題や、将来の地域と産業を見据えた教育の方向性等について教育委員会と共有しながら、教育施策の充実に取り組んできました。

こうしたこれまでの取組の成果と課題を踏まえ、今後の千葉県教育の目指すべき方向性を、市町村、学校関係者、産業界や県民の皆様と共有し、力を合わせて、千葉県の未来を担う子供たちの教育に取り組むため、このたび、今後10年間の千葉県教育の指針となる「第4期千葉県教育振興基本計画」を策定しました。

本計画に基づき、学校・家庭・地域の皆様と連携しながら、千葉県の全ての子供たちの最善の未来を拓くために、教育委員会とともに全力を尽くしてまいります。

令和7年3月

千葉県知事

熊谷 俊人

第4期千葉県教育振興基本計画の策定にあたって

本県では、令和2年2月に第3期千葉県教育振興基本計画を策定し、学校、家庭、地域のつながりによる「教育立県ちば」の実現を目指して、子供たちの学習意欲を高め学力向上を図る取組や、信頼される質の高い教員の育成、地域に開かれた学校づくり等を推進してきました。

この間、人口減少・少子化の進行、情報通信技術の急速な進展に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大、国際情勢の不安定化といった予測困難な時代の象徴とも言える事態が生じ、教育現場にも大きな影響がありました。また、教員志願者の減少傾向が続き、学校における働き方改革の加速化が求められる中で、いじめや不登校、日本語指導を必要とする児童生徒やヤングケアラーなど多様な困難を抱える子供たちへの支援のニーズは一層高まってきています。

一方、国においては、令和3年1月の中央教育審議会答申を踏まえ、「令和の日本型学校教育の構築」を目指して、個別最適な学びと協働的な学びを推進する中で、令和5年6月に、「持続可能な社会の創り手の育成」と「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」の2つを総括的基本方針とする、新たな教育振興基本計画が策定されました。

こうした中で、県教育委員会では、今後の本県教育の目指す方向性と取り組むべき施策について検討するため、令和5年度に「新しい千葉の未来を切り開く『教育立県ちば』を実現する有識者会議」を設置し、教育界、産業界、保護者の代表の方々から意見をいただきました。また、現場の教職員や中学生・高校生、教員を目指す大学生と意見交換会を実施したり、アンケートを行ったりしたほか、県議会や県民の皆様からも多くの意見をいただき、教育現場の現状と課題、国の動き等を踏まえ、このたび、第4期千葉県教育振興基本計画を策定しました。

本計画では、「人生をしなやかに切り拓き、千葉の未来を創る『人』の育成～一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自分らしく活躍するために～」を基本理念とし、教職員がゆとりと自信を持って子供たちと向き合い、誰もが安心して学べる教育環境の整備を進め、一人一人の個性と可能性を伸ばし、将来に向けても豊かで暮らしやすい千葉県の創り手を育てる、質の高い学びの場の実現を目指しています。

本計画に基づき、学校、市町村、家庭や地域の皆様の理解と協力を得ながら、本県の全ての子供たちが、健やかに心豊かに成長し、それぞれの最善の未来へと羽ばたいていけるよう、精一杯取り組んでまいります。

令和7年3月

千葉県教育委員会

第1章	計画策定の基本的な考え方	1
第1節	計画策定の趣旨	2
第2節	計画の性格	2
第3節	計画の構成と期間	3
第4節	策定のプロセス	3
第2章	基本構想編	5
第1節	千葉県教育をめぐる現状と課題	6
1	第3期計画の検証	6
2	千葉県教育の課題と取り組むべき視点	7
(1)	人口の地域間格差と少子高齢化	7
(2)	急速な社会変化への対応	8
(3)	経済・雇用情勢への対応	8
(4)	多様なニーズに対応した教育	12
(5)	質の高い教育を行う学校体制の充実	14
(6)	学校・家庭・地域の連携・協働	14
第2節	千葉県教育の目指す姿	16
1	基本理念	16
2	基本目標・目指す姿	18
第3章	実施計画編	21
第1節	施策横断的な視点	22
1	多様性が尊重され、誰もが活躍できる社会の形成を通じた ウェルビーイングの実現	22
2	教育デジタル・トランスフォーメーション（DX）の推進	23
3	産業と教育との連携強化による人材育成	23
第2節	施策・取組	24
1	施策体系	24
2	今後5年間に実施する施策と主な取組	27
基本目標1	子供たちの自信を育む教育の土台づくり	27
施策1	優れた教員の確保と教育の質の向上	27
施策2	安全・安心で魅力ある学校づくり	31
施策3	共生社会の形成に向けた特別支援教育の推進	35
施策4	多様なニーズに対応した教育の推進	38

基本目標 2 未来を切り拓く「人」の育成	43
施策 5 人生を主体的に切り拓くための学びの確立	43
施策 6 郷土と国を愛する心とグローバル化への対応能力の育成	47
施策 7 人格形成の基礎を培う幼児教育の充実	49
施策 8 豊かな心の育成	51
施策 9 生涯をたくましく生きるための健康・体力づくりの推進	55
施策 10 学びを将来へとつなぐ体系的・実践的なキャリア教育の推進	57
基本目標 3 地域全体で子供を育てる体制と全ての人が活躍できる環境づくり	60
施策 11 家庭教育への支援と家庭・地域との連携・協働の推進	60
施策 12 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進	63
施策 13 文化芸術・スポーツの推進	67

第4章 計画の推進に当たって	71
第1節 県民と一体となって取り組む体制づくり	72
1 教育行政の方向性	72
2 多様な主体との連携と協働	72
3 教育投資の充実	72
第2節 計画の進捗管理	73
1 総括指標	73
2 施策実施指標	74
資料編	77